

● ● 議長 の 四 季 報 ● ●

- 6月16日 新島地区音楽会に出席
- 21日 四島少年柔剣道大会に出席
- 22日 新島村シルバー人材センターの定期総会に出席
- 7月11日 オープンウォータースイミング大会に出席
- 14日 全国離島振興市町村議会議長会に出席
- 22日 渋谷区議会議員が来島され、これに対応
- 25日 三宅島帰島 10 周年記念式典に出席
- 28日 東京都町村会・東京都町村議会議長会合同会議に出席
- 8月4日 愛ランドリーグ 2015 サッカー大会が神津島で開催され、出席（5日まで）
- 7日 経済常任委員会を開催
- 14日 若郷盆祭（妙蓮寺）に出席
- 15日 新島盆祭（長栄寺）に出席
- 20日 小澤村長の退職申し出を受理
- 27日 東京都港湾局離島港湾部長が来島され、これに対応
- 31日 第2回新島村議会臨時会を開催
- 9月2日 防衛省技術研究本部航空装備研究所上田新島支所長による平成27年度の発射試験概要説明
- 4日 新島村島民まつり 2015 の第2回実行委員会に出席
- 5日 敬老演芸会に出席
- 9日 議会運営委員会を開催
- 15日 平成27年第3回議会定例会（16日まで）

編集後記

10月6日から始まった村長選挙は11日の投開票により新村長が誕生し、一応の決着をみた。しかし、27票の僅差であり、それは新村長に無言のプレッシャーになるように思われる（もちろん選挙結果の白黒ははっきりしている）。ということは緊張感を持った行政運営をしていくのは必至となり、その意味では住民にとって悪いことではない。

二期続いて民間出身の村長が生まれたことで時代の移り変わり、住民の意識の変化を否応なく感ぜざるを得ない。やはり住民はより開かれた行政、現状の打破を求めているのではないだろうか？

さて新村長はどのような舵取りをしていくのか、新島村を支える車の両輪の一方の議会としては協力すべきは協力し、あるいは苦言を呈し、是々非々の立場を貫き、共に住民の負託に応える、こういった姿勢で今後とも臨んでいくことになるだろうか。

● 広報編集委員長

山本均